

事業所名 グループホーム のどか I・II
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年12月12日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 医療機関経営管理者
資格・経験 特別養護老人ホーム生活相談員、臨床工学技士
B:現職 社会福祉法人生活相談員、介護事業所管理者
資格・経験 身体障害者職業生活相談員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の延長線のような日常的な介護サービスの提供をめざしている。 ・入居者の生活経験や性格をよく把握し、入居者が生活の喜びと生きがいを実感できる生活環境や介護の実践に取り組んでいる。 ・職員は入居者と共にいつも笑顔で一緒に生活を楽しむように見守り、サポートするように努力している。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が今まで生きてきた生活の延長線にある介護サービスを行い、生きがいを持って、疎外感や孤独感を与えないケアサービスの提供に取り組んでいる。 ・生活を実感でき、落ち着いた雰囲気や維持できる環境作りを心がけており、生活の中にその時々季節を感じるように努力している。 ・入居者のペースでゆっくり過ごす事が出来るよう、言葉や介護動作に配慮しながら支援している。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・「グループホームのどか I・II」は、津山市内が遡望できる高台にあり、北向きには農家、南側には稲田が広がり、玄関付近にはドングリや柿の木等があり、季節感を視覚や皮膚感覚で実感できる開放的な環境である。 ・入居者の人生観、生活観、精神的価値観等が尊重され、入居者中心の介護が行われる日常生活が送れる事がグループホームでは重要である。「グループホームのどか I・II」でも、規則に束縛されることなく、思いのままに自由に生活している入居者の姿があった。 ・認知症介護の「質の向上と維持及び介護技術の維持と向上」を意識し、常に変わらない介護サービスが提供されていることは、介護記録からもうかがえた。 ・ホーム内の入居者同士の日常会話や職員との会話から、「明るく自然に生活」していることが伝わってくる。 ・理念に基づいた介護を実践するため、職員が常に前向きに仕事に取り組んでいる姿がある。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
・特になし

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の変容に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が生きがいを感じ、生活に張り合いや喜びを感じるように、個人を重視した介護サービスを提供している。 ・個人の性格など生活歴を把握し、入居者が疎外感や孤立感を感じないように、入居者の生きがいを支援している。 ・入居者の個人情報記録を管理して日常介護サービスに生かしている。知り得た情報は、他に漏れる事がないよう留意している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け目標から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームに入居後も、これまでと変わらぬ暮らしが継続でき、ホームで過ごす日々を自分の生活と感じ、生活に喜びや生きがいがあるように支援している。 ・介護の質の向上には、日ごろからサービス提供に於いて目標をもって生活支援サービスを行うことが大切と考え、日々実践している。 ・介護サービスの仕事は、入居者への生活支援であることを自覚して入居者と関わっている。 ・発生した問題について整理・検討し、再発防止及び介護サービス向上に努力している。 		